



**ERGON**  
BIKE ERGONOMICS

---

# Perfect Fit Backpack

[BX/BA series]

バックパック 取扱説明書  
(BX/BA シリーズ用)

---

P1~P2 : BX2 取扱説明書

---

P3~P4 : BX3 取扱説明書

---

P5~P6 : BA2 取扱説明書

---

P7~P8 : BA3 取扱説明書

---

P9~P10 : BA3 エヴォ 取扱説明書

---

# BX2

## Ergon BX2 バックパック

BX2 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。この取扱説明書には、BX2 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

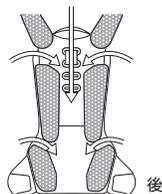
### アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の“アダプティブ キャリアー システム”を生み出しました。このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続されたショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S / M / L / XL の4段階に調節することができます。

### 優れた通気性

図 1：BX2 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、パッド間を風が通るようデザインされています。

図 1：通気性



### 収納スペース

BX2 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。

図 2a：メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット (A)、ハイドレーション バックを収納できるポケット (B)、ミニ ポンプ用ポケット (C) が配置されています。

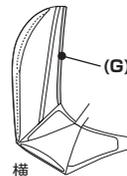
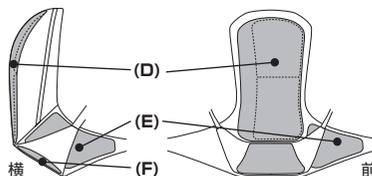
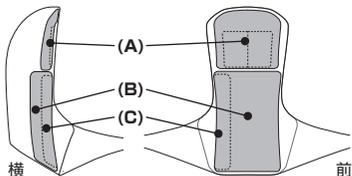
図 2b：外部には、2 つのメッシュポケット付サブ コンパートメント (D)、携帯電話／カメラ／鍵などを収納できるウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット (E)、レインカバー／ジャケットなどの 収納スペース (F) が配置されています。

図 2c：バッグ外側に、容量を 1.5 倍増やせるエクスパンド用ジッパー (G) が付いています。

図 2a：メインコンパートメント内部収納スペース

図 2b：外部収納スペース

図 2c：拡張機能



### レインカバー

図 3：左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。(1) レインカバーを上に取り上げ、バックパック上部にかぶせます。(2)

図 3：

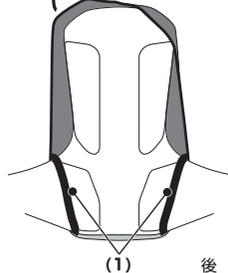
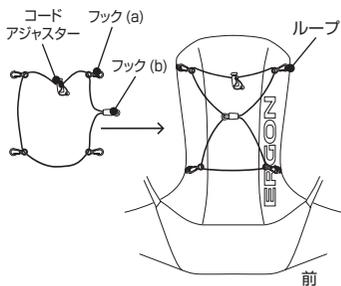


図 4：



### ドローコード

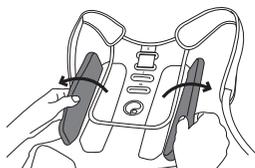
図 4：付属のドローコードを使用することにより、バックパックの外側にジャケット等の衣類やヘルメットを固定することが可能です。また、バックパック内の収納物を安定させるのにも効果的です。

グレーのフック (a) をグレーのループに、ブラックのフック (a) をブラックのループに取付けてください。

# 身体に合わせたフィッティング方法

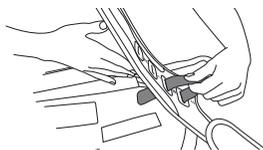
## ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

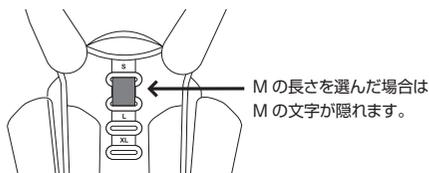
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

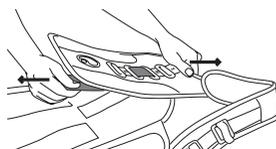
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

3.



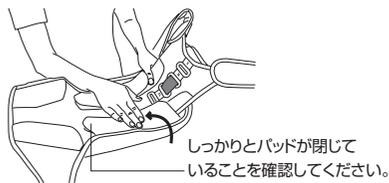
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



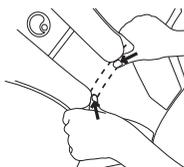
ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

5.



ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミバーを背中カーブに沿わせて適度に曲げることで、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1：



図 2：

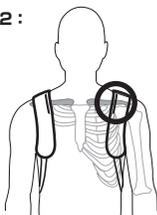
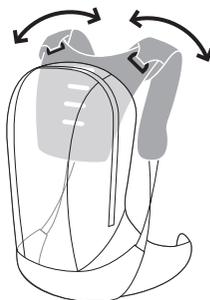


図 3：



### ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つのリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

## ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/-3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

## 適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長を目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

# BX3

## Ergon BX3 バックパック

BX3 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。この取扱説明書には、BX3 が持つ独自の機能と取扱方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

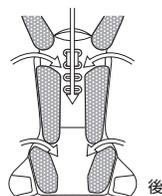
### アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の“アダプティブ キャリアー システム”を生み出しました。このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的にを行い、またハンモック状に接続されたショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S / M / L / XL の4段階に調節することができます。

### 優れた通気性

図 1 : BX3 の背面パッドは、乗車時の背中へのムレを解消するため、パッド間を風が通るようデザインされています。

図 1 : 通気性



### 収納スペース

BX3 の収納スペースは、アクセスしやすく、機能的な配置を重視してデザインされています。

図 2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話 / 財布などを収納できるメッシュポケット (A)、ハイドレーション バックを収納できるポケット (B)、ミニ ポンプ用ポケット (C) などが配置されています。

図 2b : 外部には、メッシュポケット付サブ コンパートメント (D)、ヘルメットホルダー (E)、レイン カバー用コンパートメント (F)、携帯電話 / カメラ / 鍵などを収納できる左右ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット (G) が配置されています。

図 2c : バック外側に、容量を 2 倍増やせるエクスパンド用ジッパー (H) が付いています。

図 2a : メインコンパートメント内部収納スペース

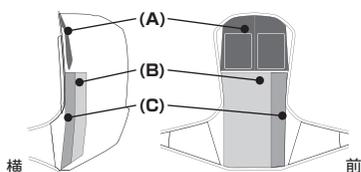


図 2b : 外部収納スペース

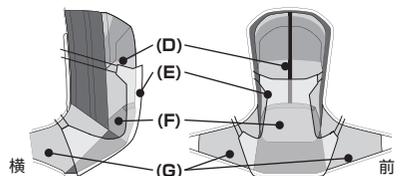
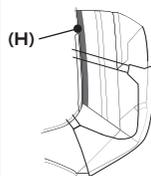


図 2c : 拡張機能



### レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。(1) レインカバーを上へ引き上げ、バックの上部にかぶせます。(2)

図 3 :

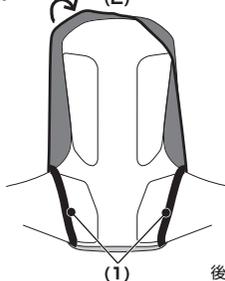
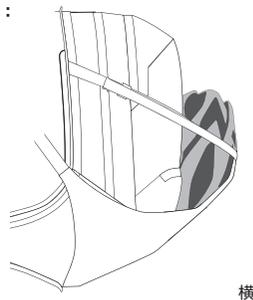


図 4 :



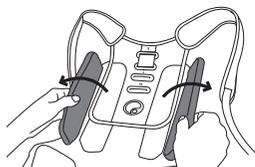
### ヘルメットホルダー

図 4 : 一体型ヘルメットホルダーはヘルメット以外にもジャケットなどの衣類を収納することもできます。またストラップを締めることで収納物を安定させることもできます。

# 身体に合わせたフィッティング方法

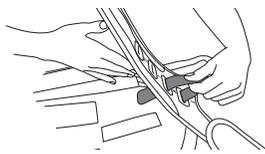
## ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

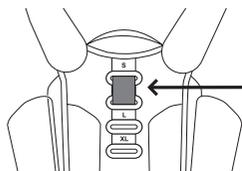
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

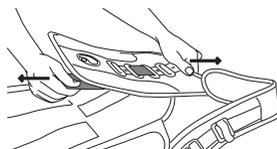
3.



Mの長さを選んだ場合はMの文字が隠れます。

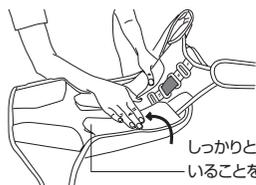
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

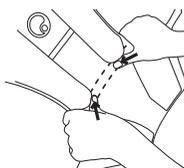
5.



しっかりとパッドが閉じていることを確認してください。

ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.

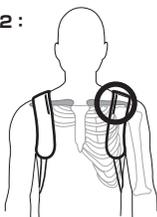


背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミバーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることで、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1 :



図 2 :

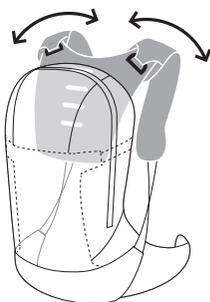


### ショルダーストラップの調節

図 1 : ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて (+/-3cm)、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2 : ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3 :



### ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3 : ショルダーストラップ上部の2つのリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

# BA2

## Ergon BA2 バックパック

BA2 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。

この取扱説明書には、BA2 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

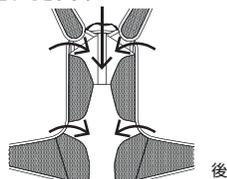
### アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の“アダプティブ キャリアー システム”を生み出しました。このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的にを行い、またハンモック状に接続されたショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S / M / L / XL の4段階に調節することができます。

### 優れた通気性

図 1：BA2 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、パッド間を風が通るようデザインされています。

図 1：通気性



### 収納スペース

BA2 の収納スペースは、アクセスしやすく、機能的な配置を重視してデザインされています。

図2a：メイン コンパートメント内部には、財布などを収納できるメッシュポケット (A)、携帯電話などを収納できるメッシュポケット (B)、E- バイクバッテリーなどを収納できるコンパートメント (C)、背中側にはハイドレーション バック収納用コンパートメント (D)、プロテクター BP100 など収納できるコンパートメント (E) が配置されています。

図2b：外部には、パンク修理キット / 鍵 (F)、ミニポンプ (G)、ツール / チューブなど (H) を収納できるサブ コンパートメント、ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット (I)、ウェアなどの収納スペース (J) が配置されています。

図2a：メインコンパートメント内部収納スペース

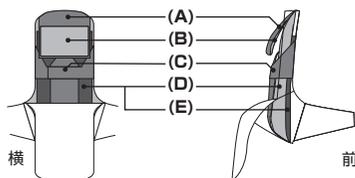
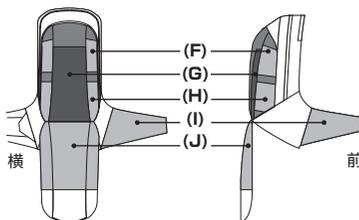


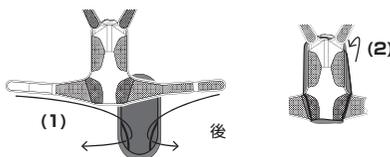
図2b：外部収納スペース



### レインカバー

図 3：左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。(1) レインカバーを上引き上げ、バックパック上部にかぶせます。(2)

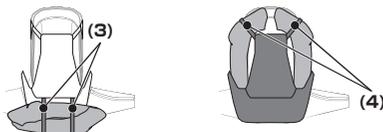
図 3：



### プロテクターの固定

図 4：バックパック下部のストラップ (3)、またはバックパック上部のストラップ (4) を使用し、プロテクターを固定します。

図 4：



### ヘルメットの固定

図 5：アジャスタブル ヘルメット ホルダーを使用して、フルフェイス ヘルメットや自転車用ヘルメット、ジャケットなどの衣類を固定します。

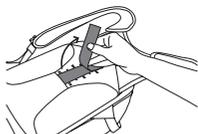
図 5：



# 身体に合わせたフィッティング方法

## ショルダープレート長の調節

1.



背面のベルクロストラップを剥がします。

2.



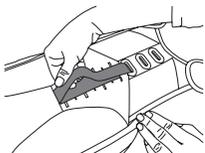
バックパックとショルダープレートを繋いでいるベルクロを剥がします

3.



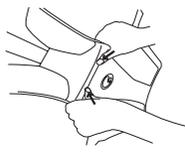
ショルダープレートを希望サイズ (S / M / L / XL) の位置まで引き出し、ベルクロを閉じます。

4.



ベルクロストラップを希望の長さの穴に差し込みます。ベルクロを閉じ、ストラップ先端を中央のポケットに収納します。

5.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミバーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることにより、さらに快適なフィット感が得られます。

## ショルダーストラップの調節

図 1 : ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウエストベルトを腰骨のラインに沿わせて (+/-3cm)、少しきつめに締めます。ウエストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。



図 2 : ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車で乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 1 :



図 2 :

## ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3 : ショルダーストラップ上部の2つのDリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

図 3 :



## GoPro などのアクションカメラの背面マウントへの取り付け

図 1 : ベルクロストラップを希望の長さの穴に差し込みます。ベルクロを閉じ、ストラップ先端を中央のポケットに収納します。

図 2 : カメラのアダプター部分をバックパックのカメラマウント部に取り付け、セキュリティストラップ先端部のフックをバックパックのループに引っ掛けます。

図 3 : 安全のため、上部ストラップをしっかりと締めてカメラを固定してください。注意：乗車時はカメラのアダプターとセキュリティストラップが正しく取り付けられており、損傷の恐れがないことを確認してください。

図 1 :

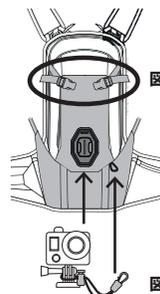
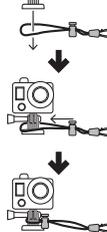


図 3 :

図 2 :

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長を目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

# BA3

## Ergon BA3 バックパック

BA3 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。

この取扱説明書には、BA3 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

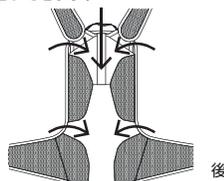
### アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の“アダプティブ キャリアー システム”を生み出しました。このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続されたショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。背中中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S / M / L / XL の4段階に調節することができます。

### 優れた通気性

図 1：BA3 の背面パッドは、乗車時の背中中のムレを解消するため、パッド間を風が通るようデザインされています。

図 1：通気性



### 収納スペース

BA3 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。

図2a：メイン コンパートメント内部には、財布などを収納できるメッシュポケット (A)、携帯電話などを収納できるメッシュポケット (B)、E- バイクバッテリーなどを収納できるコンパートメント (C)、背中側にはハイドレーション バック収納用コンパートメント (D)、プロテクター BP100 など収納できるコンパートメント (E)、ゴーグルなど収納できるコンパートメント (F) が配置されています。

図2b：外部には、パンク修理キット / 鍵 (G)、ミニポンプ (H)、応急用具 (I) ツール / チューブなど (J) を収納できるサブ コンパートメント、ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット (K)、スベアパーツなどの収納スペース (L) が配置されています。

図2a：メインコンパートメント内部収納スペース

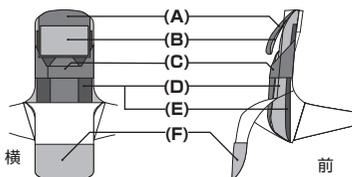
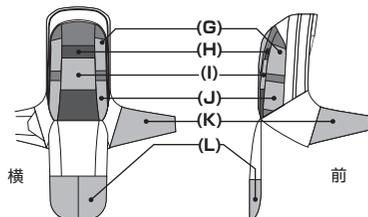


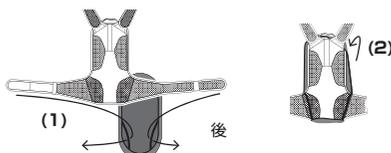
図2b：外部収納スペース



### レインカバー

図 3：左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。(1) レインカバーを上へ引き上げ、バックパック上部にかぶせます。(2)

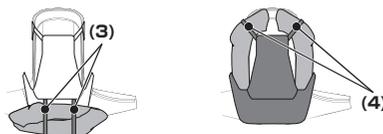
図 3：



### プロテクターの固定

図 4：バックパック下部のストラップ (3)、またはバックパック上部のストラップ (4) を使用し、プロテクターを固定します。

図 4：



### ヘルメットの固定

図 5：アジャスタブル ヘルメット ホルダーを使用して、フルフェイス ヘルメットや自転車用ヘルメット、ジャケットなどの衣類を固定します。

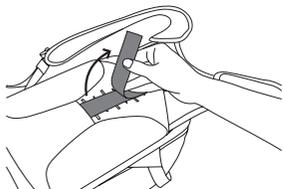
図 5：



# 身体に合わせたフィッティング方法

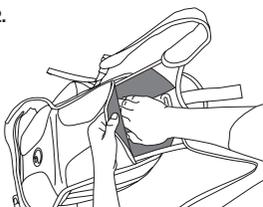
## ショルダープレート長の調節

1.



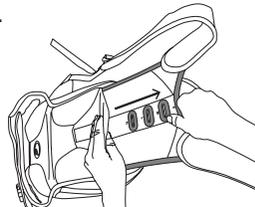
背面のベルクロストラップを剥がします。

2.



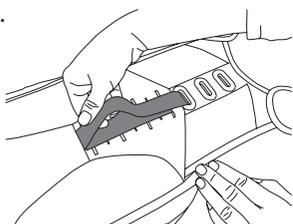
バックパックとショルダープレートを繋いでいるベルクロを剥がします

3.



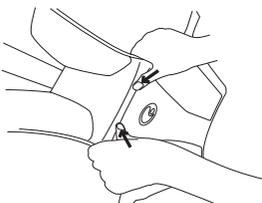
ショルダープレートを希望サイズ (S / M / L / XL) の位置まで引き出し、ベルクロを閉じます。

4.



ベルクロストラップを希望の長さの穴に差し込みます。ベルクロを閉じ、ストラップ先端を中央のポケットに収納します。

5.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミバーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることで、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1 :



### ショルダーストラップの調節

図 1 : ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて (+/-3cm)、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2 :

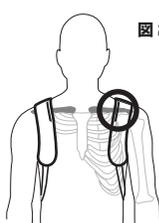
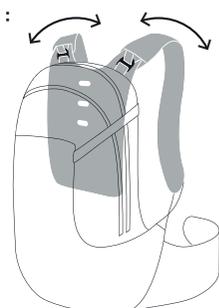


図 2 : ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置になるように調節してください。

図 3 :



### ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3 : ショルダーストラップ上部の2つのDリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

### 適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長を目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

# BA3 Evo

## Ergon BA3 エヴォ バックパック

BA3 エヴォ バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。

この取扱説明書には、BA3 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

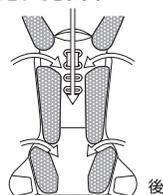
### アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の“アダプティブ キャリアー システム”を生み出しました。このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的にを行い、またハンモック状に接続されたショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S / M / L / XL の4段階に調節することができます。

### 優れた通気性

図 1 : BA3 エヴォの背面パッドは、乗車時の背中の中のムレを解消するため、パッド間を風が通るようデザインされています。

図 1 : 通気性



### 収納スペース

BA3 エヴォの収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。

図2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話/財布などを収納できるメッシュポケット (A)、カメラなどを収納できるメッシュポケット (B) が、背中側にはハイドレーション バック収納用コンパートメント (C) が配置されています。

図2b : 外部には、二つのメッシュポケット付サブ コンパートメント (D)、ヘルメットホルダー (E)、携帯電話/カメラ/鍵などを収納できる左側ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット (F) が配置されています。

図2c : バッグ外側に、容量を 2ℓ 増やせるエクスパンド用ジッパー (G) が付いています。

図2a : 内部収納スペース

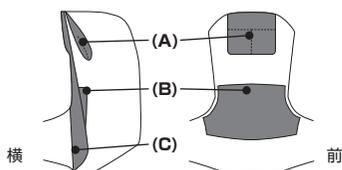


図2b : 外部収納スペース

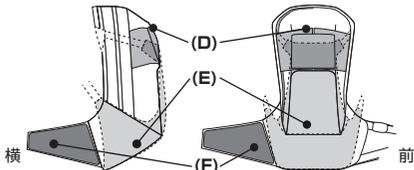


図2c : 拡張機能



### レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。(1) レインカバーを上に取り上げ、バックパック上部にかがせます。(2)

図 3 :

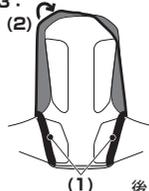
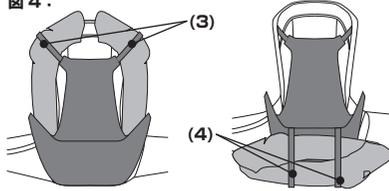


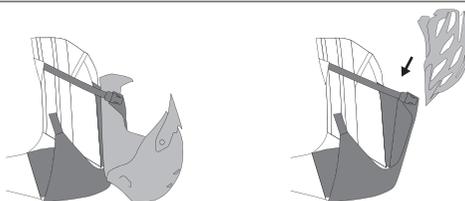
図 4 :



### プロテクターの固定

図 4 : バックパック上部のストラップ (3)、またはバックパック下部のストラップ (4) を使用し、プロテクターを固定します。

図 5 :



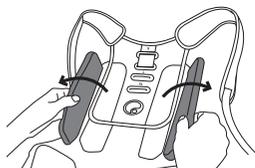
### ヘルメットの固定

図 5 : アジャスタブル ヘルメットホルダーを使用して、フルフェイスヘルメットや自転車用ヘルメット、ジャケットなどの衣類を固定します。

# 身体に合わせたフィッティング方法

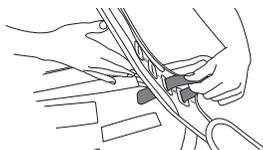
## ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

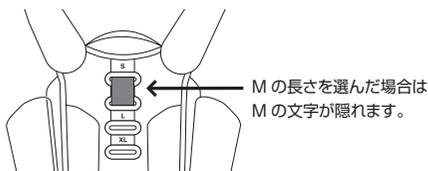
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

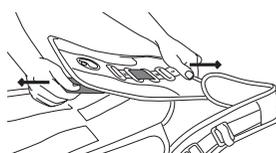
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

3.



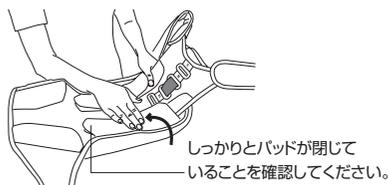
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



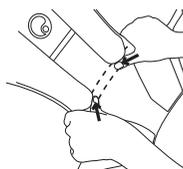
ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

5.



ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミバーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることで、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1 :



### ショルダーストラップの調節

図 1 : ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて (+/-3cm)、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2 :

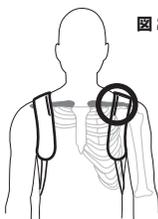
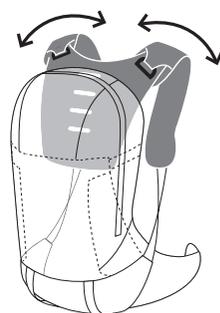


図 2 : ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3 :



### ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3 : ショルダーストラップ上部の2つのリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

## 適応サイズ一覧表

### BX2 / BX3 / BA3 Evo

身長目安	ショルダー ストラップ サイズ ※	ショルダー プレート 取付位置
155～160cm	スモール	S
160～165cm		M
165～170cm		M～L
170～175cm		L
170～175cm		S
175～180cm		S～M
180～185cm	ラージ	M
185～190cm		M～L
190～195cm		L～XL

※ 「スモール」 / 「ラージ」 の違いは、容量の違いではなく、ショルダー ストラップの長さの違いです。

※ ショルダー ストラップ サイズが「スモール」の場合、ショルダー プレート取付位置の「XL」は使用しません。  
身長が 170～175cm 以上の方は、「ラージ」をお選びいただくことをお勧めします。

#### 収納と荷重配分のコツ：

安定した荷重配分を保つため、重量物はバックパックの底部に入れておくことをお勧めします。

ドロークコードは、ジャケットやヘルメットのような軽量の物にのみ使用してください。

内蔵アルミ バーをライダーの背中から離れた位置に保つ事によって、背中との密着による不快感を防ぐことができます。

#### クリーニングとメンテナンス：

バックパックを常に最良の状態に保つため、使用後は毎回クリーニングし、乾かしてください。クリーニングにはぬるま湯と柔らかいスポンジを使用してください。素材のコーティングを傷つけないために、内側の汚れは柔らかい布で拭きとってください。熱湯、漂白剤、洗剤、溶剤、染み抜き剤は使用しないでください。頑固な汚れには洗剤を含まない石鹸を使用してください。洗剤の使用は、バックパックの防水コーティングを傷つける恐れがあります。バックパックの乾かす場合は、ジッパーを開いた状態で、直射日光を避け、通気の良い涼しい場所に干してください。洗濯機や乾燥機は使用しないでください。

#### 保管方法：

濡れたままや、汚れたままの状態での保管は、生地の変傷 / カビの発生 / 悪臭の原因となるため避けてください。  
直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管してください。

#### 注意：

バックパックは高い防水力を持っていますが 100%防水ではありません。(BX2 / BX3 / BA3 エヴォ / BA2 / BA3 にはレインカバーも付属しています。) 携帯電話等の電子機器を収納する際には、個別に防水ケースに収納することをお勧めします。

#### 保証期間：

ご購入日から 2 年間：製造上の欠陥による機械部品の不良が対象です。

保証を受けるには、ご購入日の日付の入った領収書が必要です。領収書なしで保証を受ける場合の保証期間は製造年月日から起算させていただきます。お客様の事故などによる外的要因、誤使用、改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保証を受けられません。故障した製品は故障状況を明記して、お買上げの販売店へお持ちください。お送りになる場合の送料はお客様にご負担をお願いします。